TOTO

フロアキャビネット

商品の機能が十分に発揮されるように、この説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1 安全上のご注意

- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
  使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

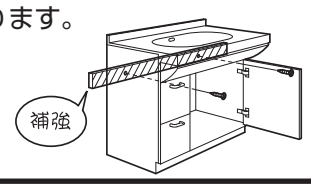
表　示	意　味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り付けをすると、 ● 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り付けをすると、 ● 人が傷害を負う可能性が想定される内容 ● 物的損害の発生が想定される内容 を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

🛇	この記号は禁止の行為であることを告げるものです。	❗	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- 本体に付属されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
  紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

⚠警告

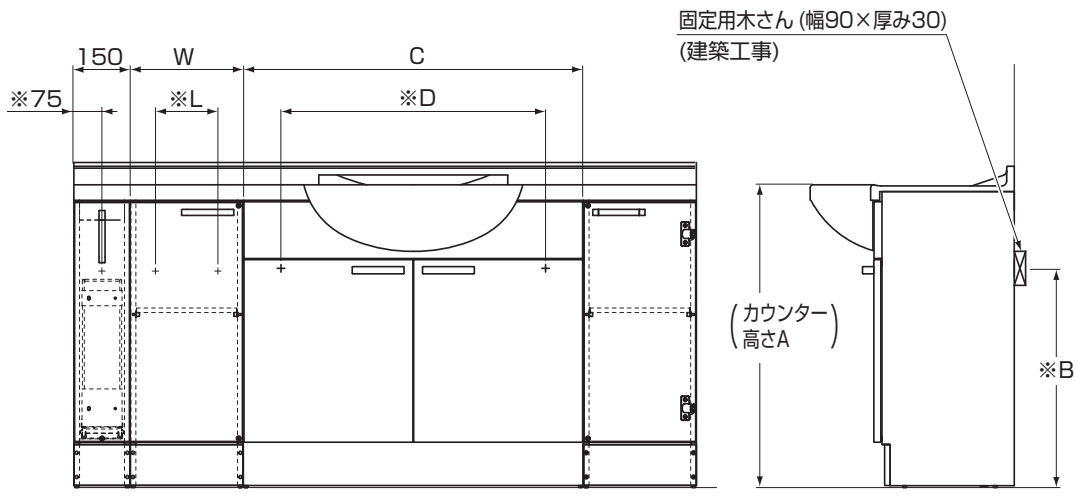
壁固定ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する	水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格・指定業者」が行う
キャビネットが転倒し、けがをするおそれがあります。 必ず実行 	火災や感電および水漏れの原因になります。 必ず実行

⚠注意

湯・水を逆に配管しない	凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う	取り付け完了後、給排水管から水漏れがないことを必ず確認する	取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する	カウンター・洗面ボウルの上にのらない	浴室など湿気の多い場所へ設置しない
水側でいきなり湯が出て、やけどをするおそれがあります。 禁止	凍結破損で水漏れし家財などに損害を与える原因になります。 必ず実行	水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。 必ず実行	使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。 必ず実行	故障および転落・転倒してけがをするおそれがあります。 禁止	木部が膨潤する原因になります。 禁止

2 設置寸法

- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。
- 給水・給湯・排水位置は、商品図を確認してください。
- ※印の寸法は木ねじ位置を示します。



W	300	450	600
L	100	250	400

カウンター高さA	750	800
B	530	580

C	750	800	850	900	950	1000	1050	1100	1150	1200
D	550	600	650	700	750	800	850	900	950	1000

3 使用条件

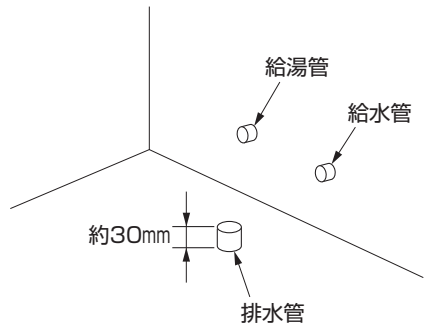
- 水栓金具の使用条件は水栓金具に付属の施工説明書をご参照ください。
- 電気温水器の使用条件は電気温水器に付属の施工説明書をご参照ください。

4 取り付け条件

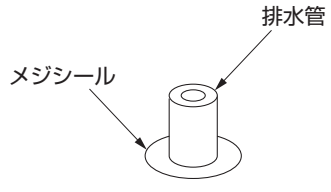
- キャビネットの壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木さんを入れてください。
  （固定用木さんが取り付けられない場合は、設置壁に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。）（建築工事）

※タイル・コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ（引き抜き強度1,000N以上／本）を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。
（プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。）

- 給水管を所定の位置に取り出してください。
- 器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 排水管を所定の位置に仕上げ面より下記要領で立ち上げてください。
- 排水管を所定の位置に取り出してください。
  （排水管はVU40・VU50または、VP40・VP50をご使用ください。）

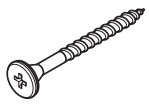
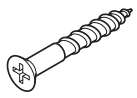
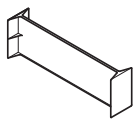
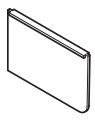
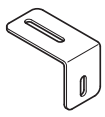
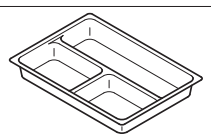
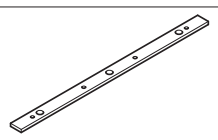
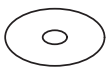
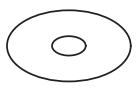
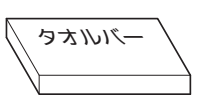


※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすき間がある場合は、メジシールでシールしてください。



5 付属部品明細 LBX150～1201（フロアキャビネット）

● フロアキャビネット

		フロアキャビネット								洗面器用フロアキャビネット			
		150サイズ		300サイズ	450サイズ			600サイズ		750～1200サイズ	750～1200サイズ	751～951サイズ	1001～1201サイズ
		カウンターラウンドタイプ	カウンターストレートタイプ	扉･引出タイプ	扉タイプ	引出しタイプ	網カゴタイプ	スツールタイプ		カウンターラウンドタイプ	カウンターストレートタイプ	ストックカーゴタイプ	
								カウンターラウンドタイプ	カウンターストレートタイプ			カウンターストレートタイプ	
壁固定用木ねじ（φ5.2×55）		1本	1本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本
連結用木ねじ（φ3.1×25）		2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本
カウンター固定用木ねじ（φ4.5×14）		2本	2本	4本	4本	4本	4本	4本	4本	8本	4本	4本	4本
化粧キャップ		1個	1個	2個	2個	2個	2個	2個	2個	2個	2個	2個	2個
仕切		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4個	8個
仕切板		2枚	2枚	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
アングル		—	—	2個	2個	2個	2個	2個	2個	4個	2個	2個	2個
トレイ		—	—	—	—	—	—	2個	2個	—	—	—	—
ベース板		—	—	—	—	—	—	2枚	2枚	—	—	—	—
ベース板固定用ねじ（φ4×25）		—	—	—	—	—	—	6本	8本	—	—	—	—
ねじ付ダボ		—	—	—	—	—	—	6本	8本	—	—	—	—
給水ふた ※ねじ穴があるタイプもあります		—	—	—	—	—	—	—	—	2個	2個	2個	2個
排水ふた ※ねじ穴があるタイプもあります		—	—	—	—	—	—	—	—	1個	1個	1個	1個
防臭栓		—	—	—	—	—	—	—	—	1個	1個	1個	1個
給水ふた用木ねじ（φ3×12）		—	—	—	—	—	—	—	—	ねじあり / ねじなし 4本 / －	ねじあり / ねじなし 4本 / －	ねじあり / ねじなし 4本 / －	ねじあり / ねじなし 4本 / －
排水ふた用木ねじ（φ3×12）		—	—	—	—	—	—	—	—	ねじあり / ねじなし 3本 / －	ねじあり / ねじなし 3本 / －	ねじあり / ねじなし 3本 / －	ねじあり / ねじなし 3本 / －
タオルバー一式		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
取扱説明書		—	—	—	—	—	—	—	—	1冊	1冊	1冊	1冊

● エンドスペーサー　LEX30B

固定用木ねじ（φ3.5×13）	5本

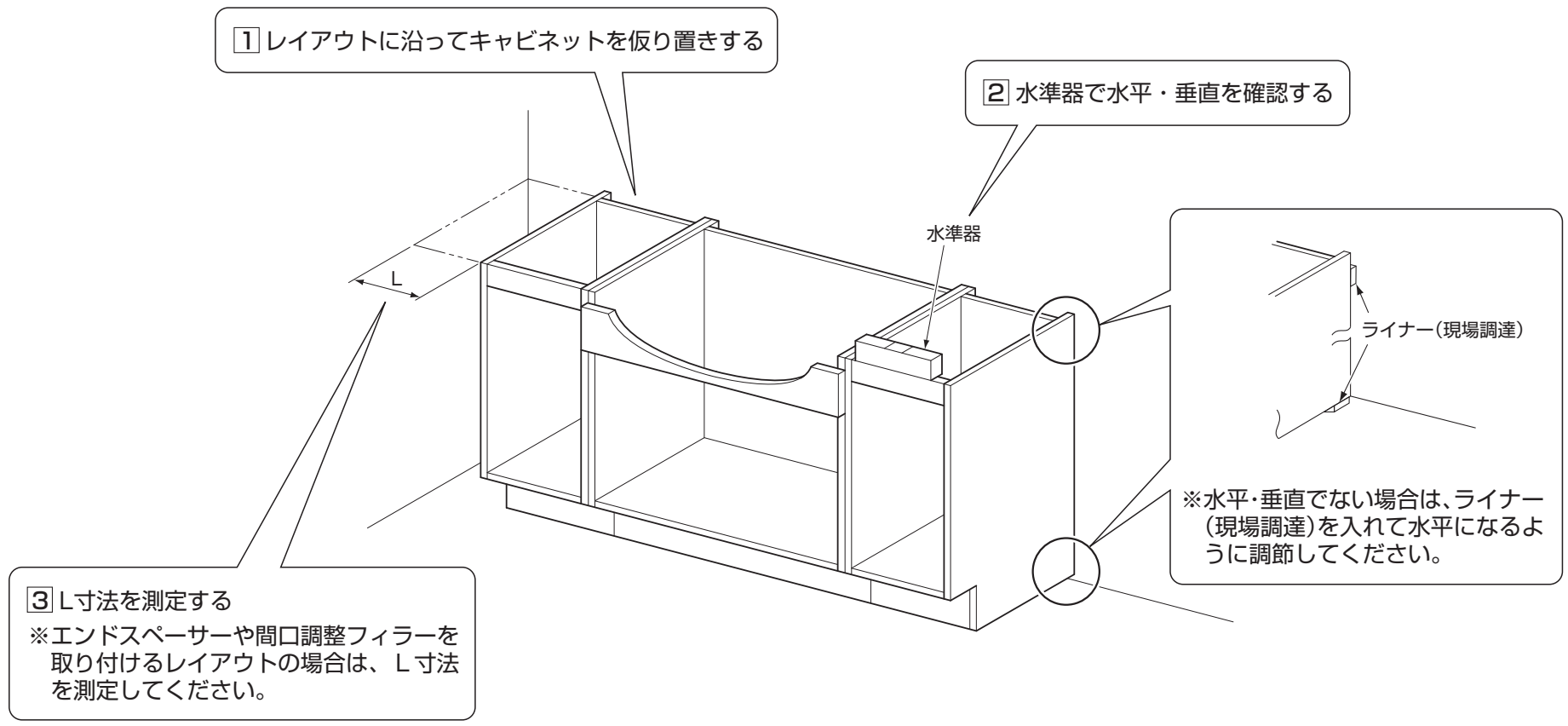
6 取り付け手順（番号順に取り付けてください。）

※タイル・コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ（引き抜き強度1,000N以上／本）を打ち込んでおいてください。
（プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。）

1 引き出し・スライドラックを取り外す

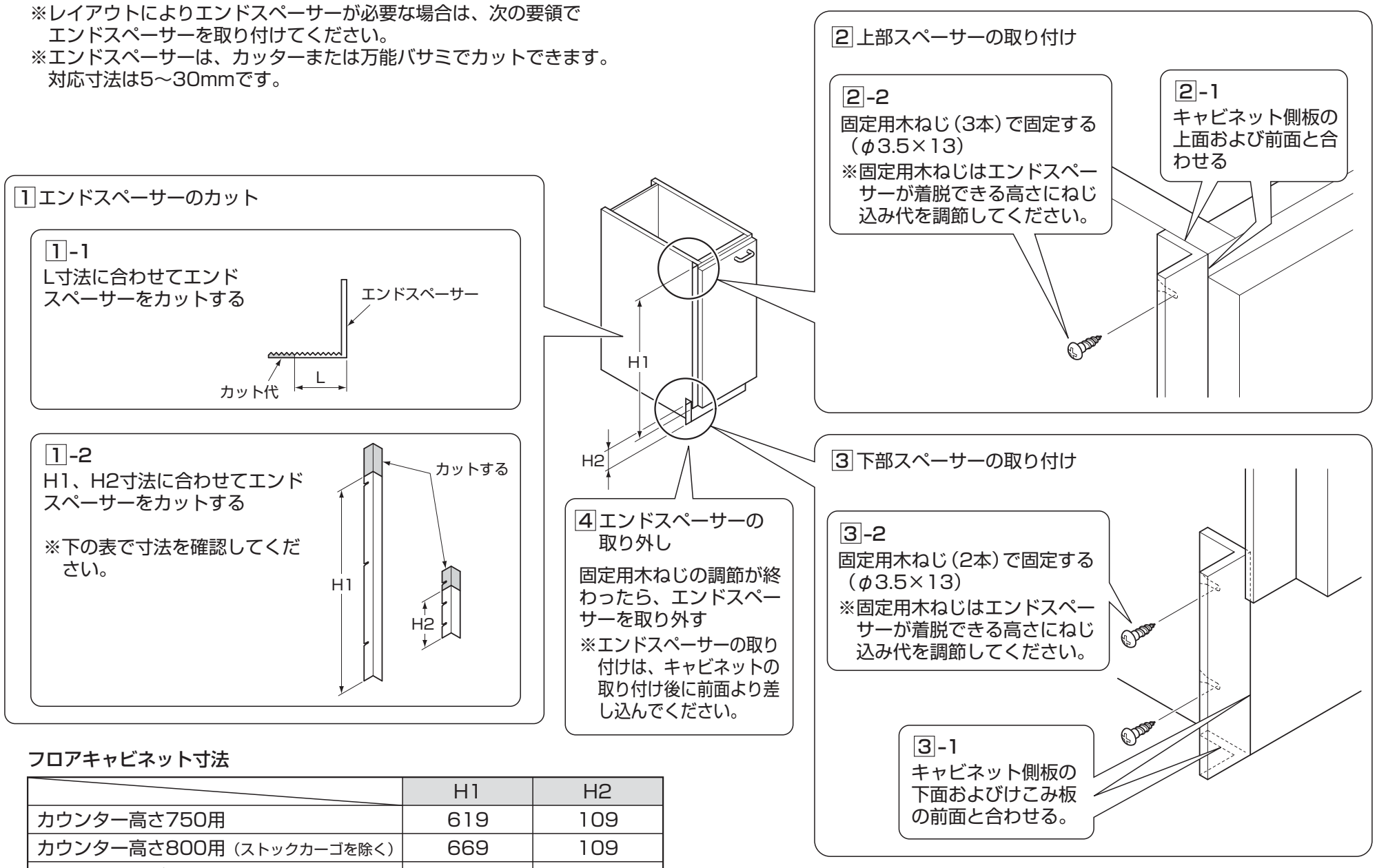
- 引き出し・スライドラックタイプは、あらかじめ商品より取り外しておいてください。
（商品に貼り付けてある取り外し・取り付け要領のラベルを参照してください。 ）
※取り付け完了後は、引き出し・スライドラックを取り付けてください。

2 キャビネットの仮置き



3 エンドスペーサーの取り付け

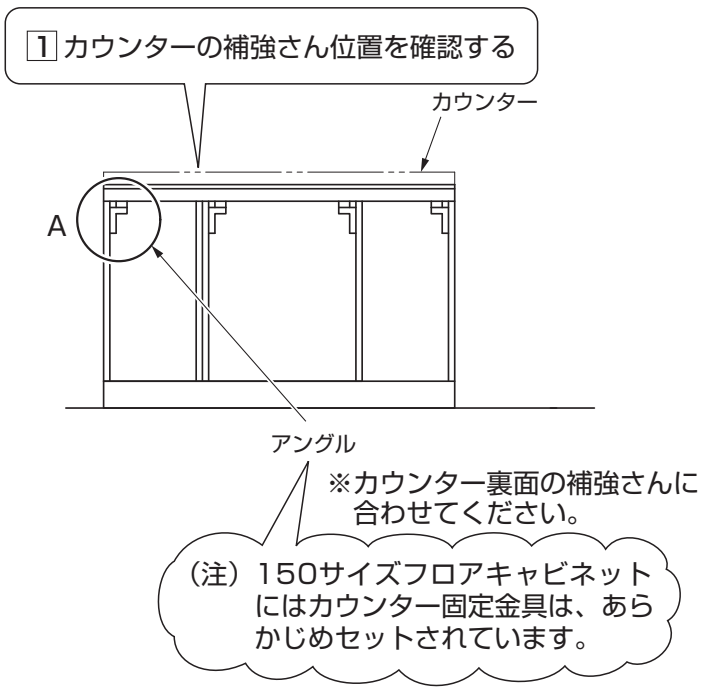
※レイアウトによりエンドスペーサーが必要な場合は、次の要領でエンドスペーサーを取り付けてください。
※エンドスペーサーは、カッターまたは万能バサミでカットできます。
対応寸法は5～30mmです。

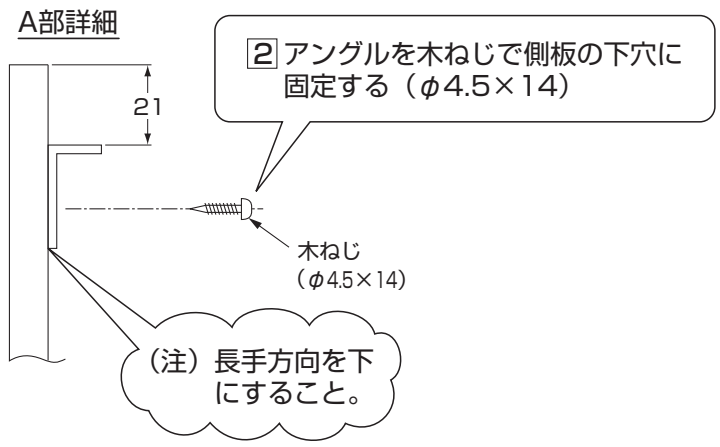


フロアキャビネット寸法

	H1	H2
カウンター高さ750用	619	109
カウンター高さ800用（ストックカーゴを除く）	669	109
ストックカーゴ	586	192

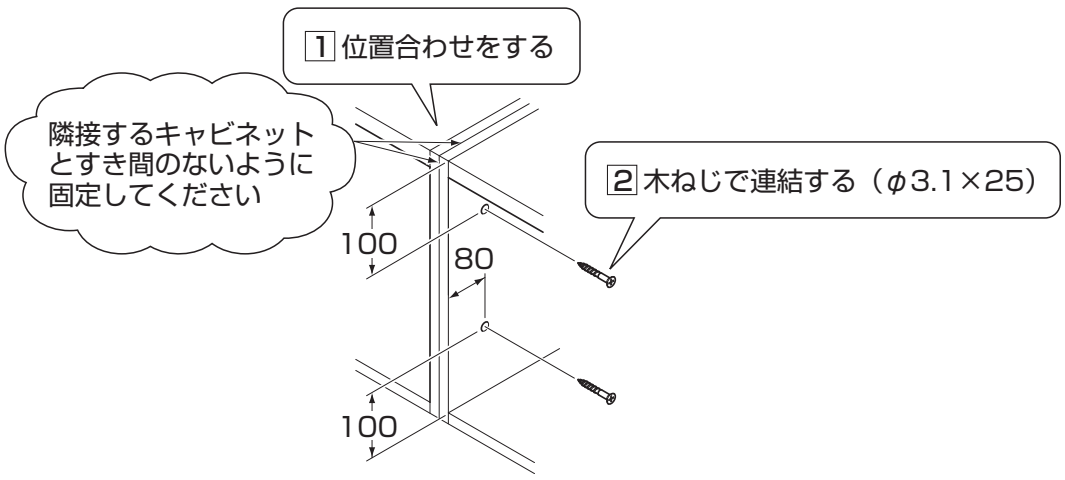
4 アングルの取り付け

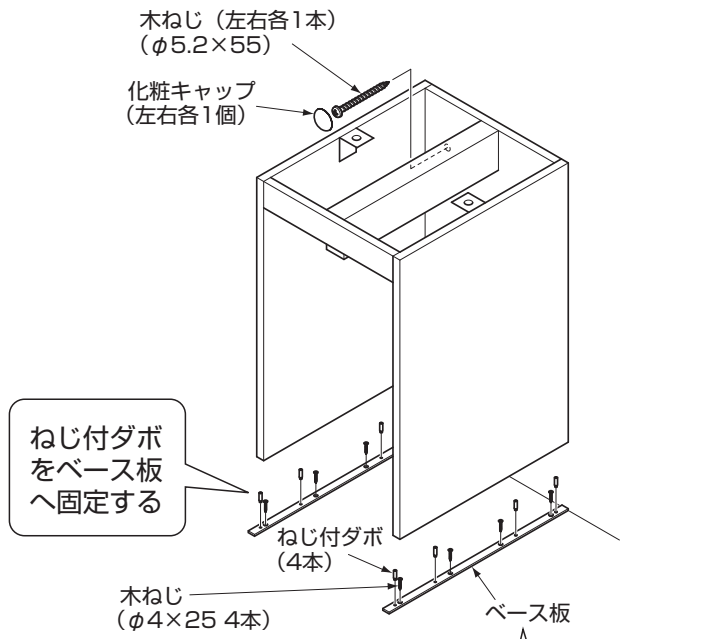


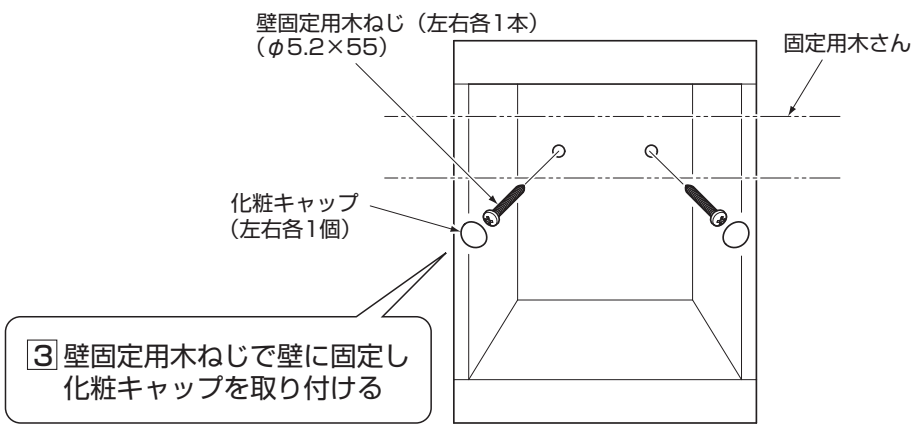


※MS01, MSG1タイプの洗面ボウル用フロアキャビネットのアングルは4個となっています。

5 キャビネットの取り付け



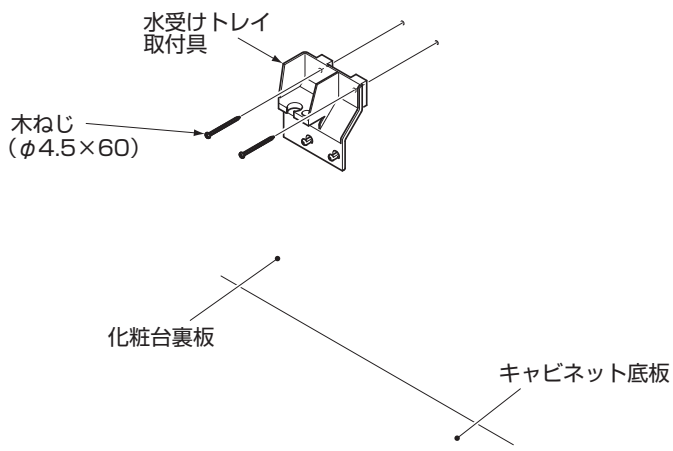




6 水受けトレイ取付具の固定（シャンプータイプのみ）

- 裏板の下穴に合わせて水受けトレイを取り付けてください。

※キャビネット仕様のとき、スペーサーは不要です。



7 排水金具の取り付け（洗面ボウル一体タイプを除く）

- 排水金具の取り付けについては、排水金具に付属されている説明書をご参照ください。

8 洗面ボウルの取り付け（洗面ボウル一体タイプを除く）

- 洗面ボウルの取り付けについては、カウンターに付属されている説明書をご参照ください。

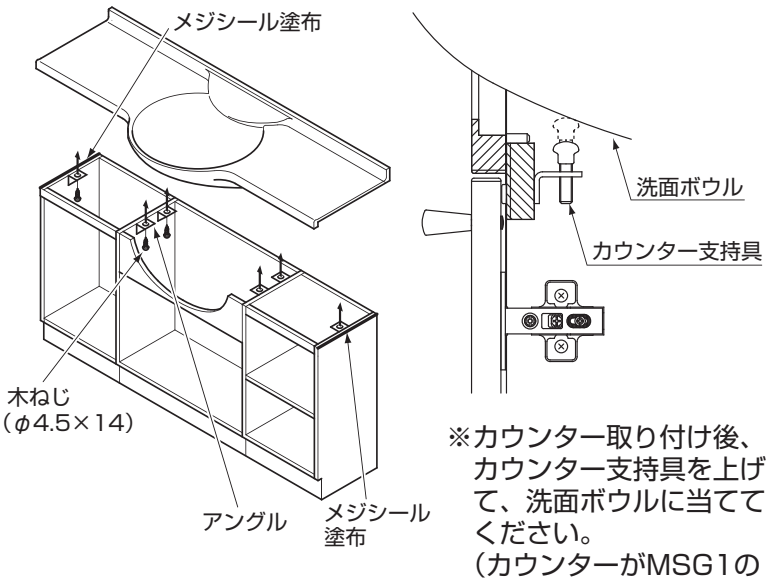
裏面に続く

9 カウンターの取り付け

- カウンターを設置し、フロアキャビネット内側から木ねじ(フロアキャビネットに付属しています)で固定してください。
- 連結板が付く場合は、支持金具をカウンターと壁の間に差し込んでカウンターを固定します。

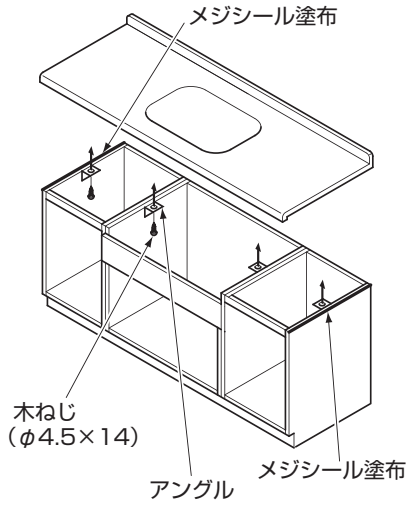
※カウンターを設置する際、側板木口にメジシールを塗布してください。（白 - YG902S / 透明 - YG903S）

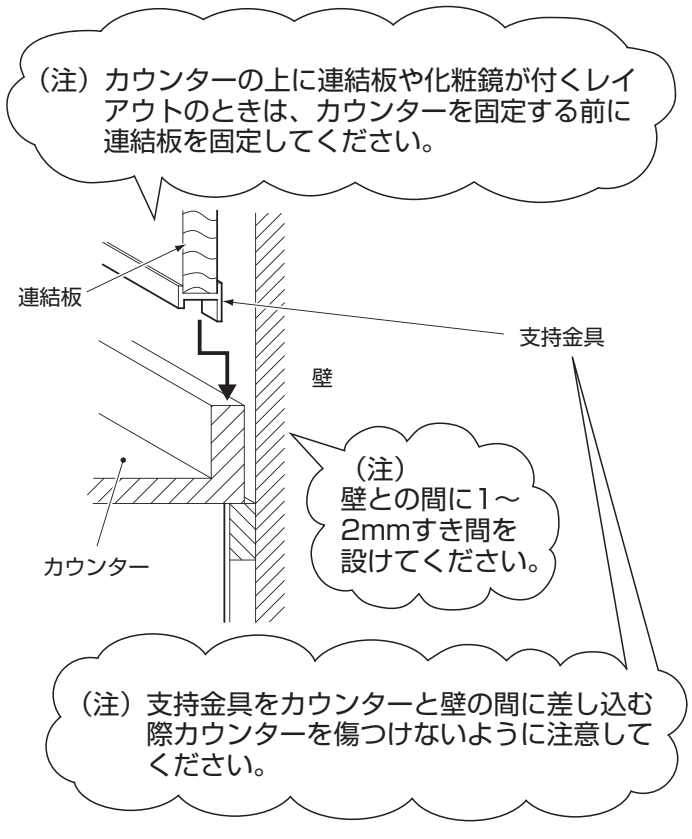
カウンターラウンドタイプ



※カウンター取り付け後、カウンター支持具を上げて、洗面ボウルに当ててください。
(カウンターがMSG1の場合のみ)

カウンターストレートタイプ

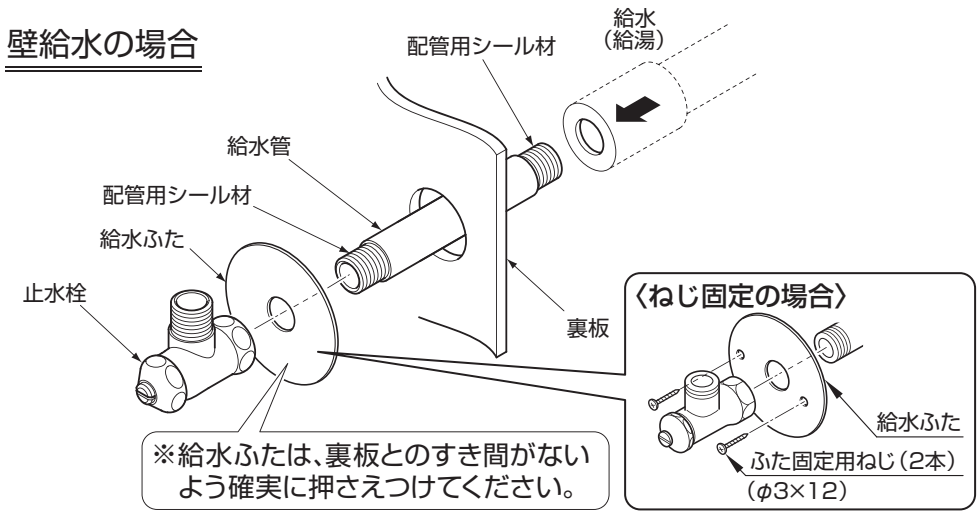




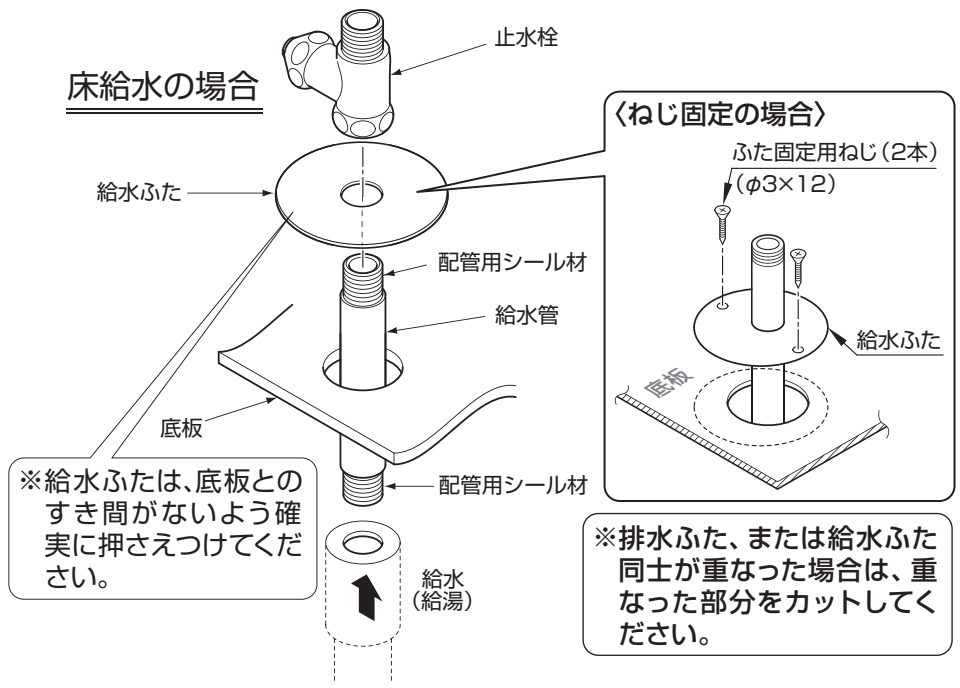
10 止水栓の取り付け

- 止水栓は工具で十分に締め付けてください。
- 樹脂配管対応は、TSAS4BJZAに付属の説明書をご参照ください。

壁給水の場合



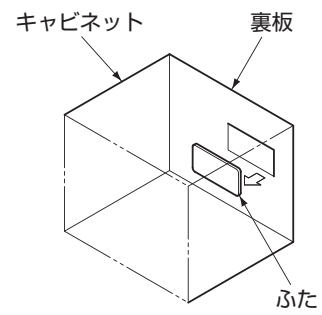
床給水の場合



11 水栓金具の取り付け

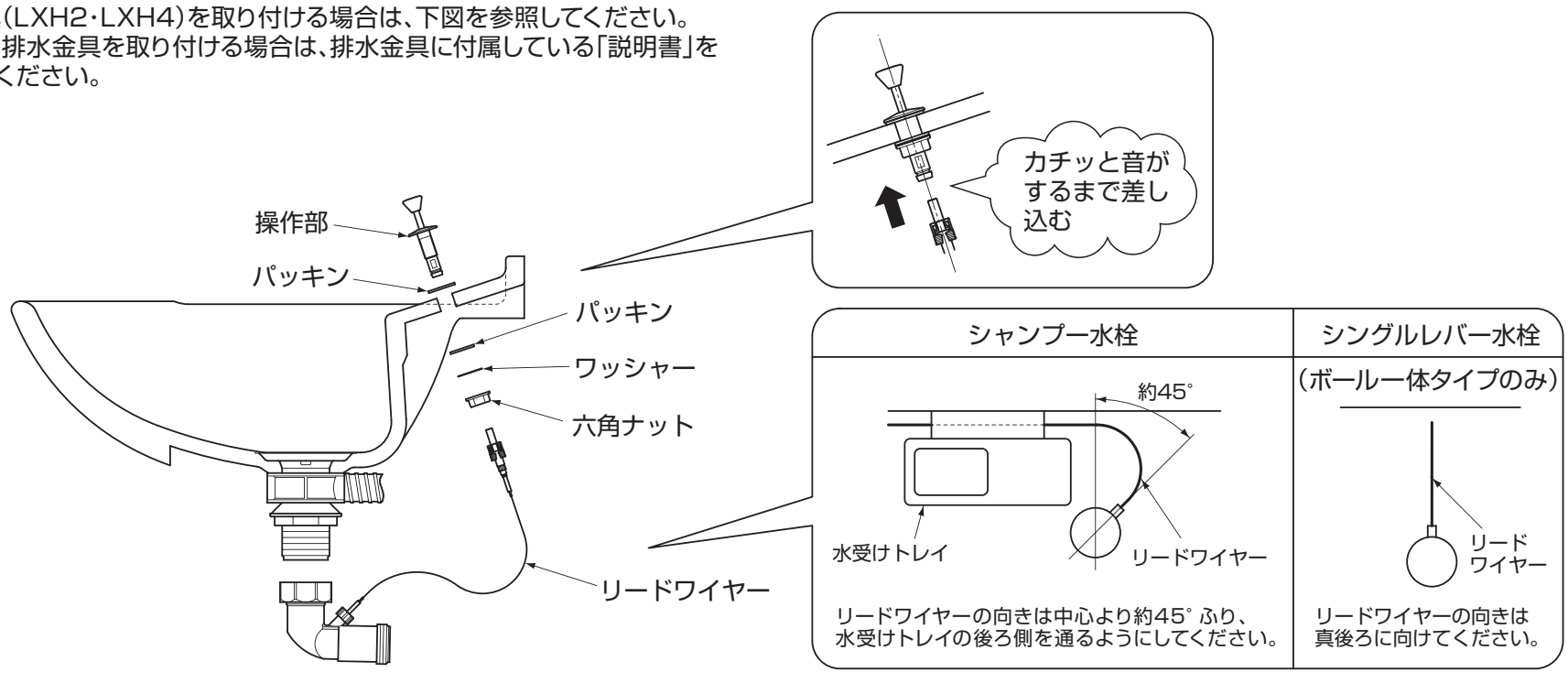
- 水栓金具の取り付けについては、水栓金具に付属されている説明書をご参照ください。

※シャンプー水栓（サーモタイプ）の場合は、キャビネット内側の裏板に付いている樹脂製のふたを外して水栓金具を取り付けてください。



12 排水金具の取り付け

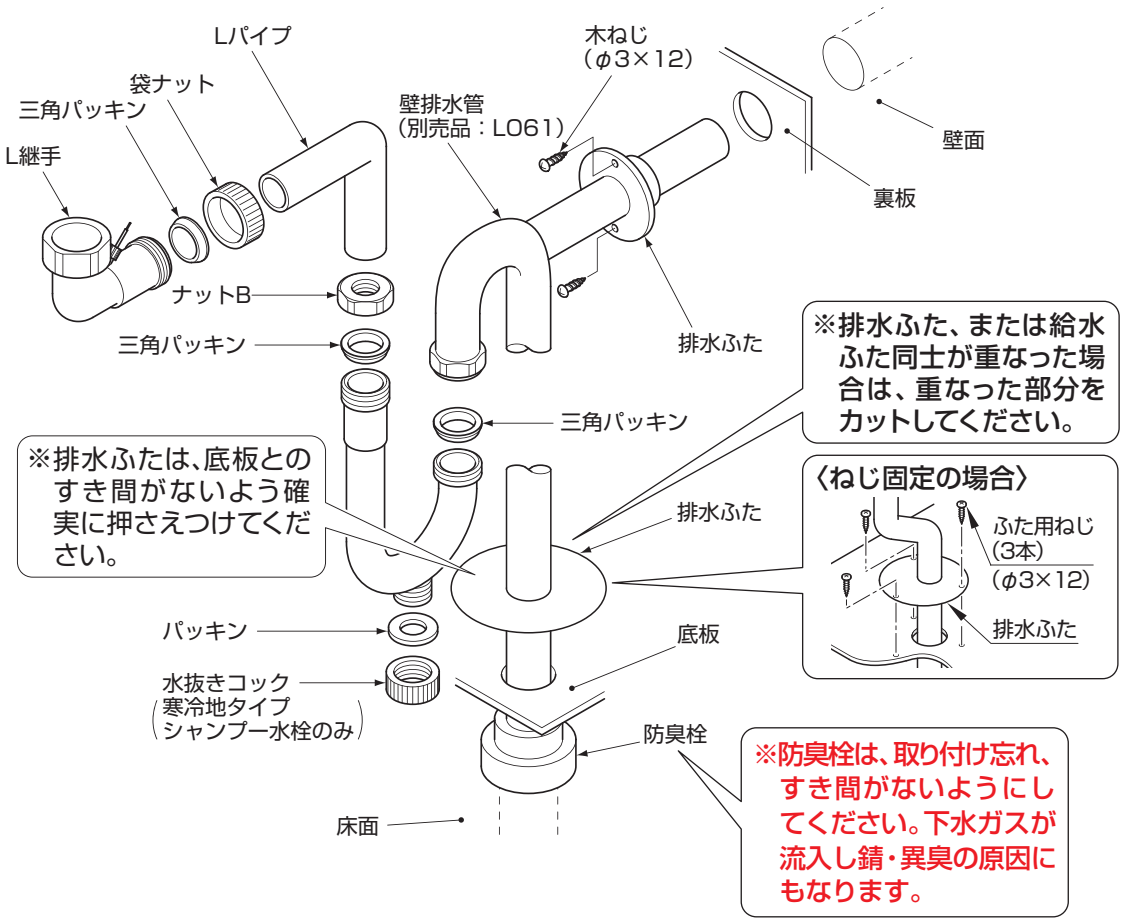
- 排水金具(LXH2･LXH4)を取り付ける場合は、下図を参照してください。
- その他の排水金具を取り付ける場合は、排水金具に付属している「説明書」を参照してください。



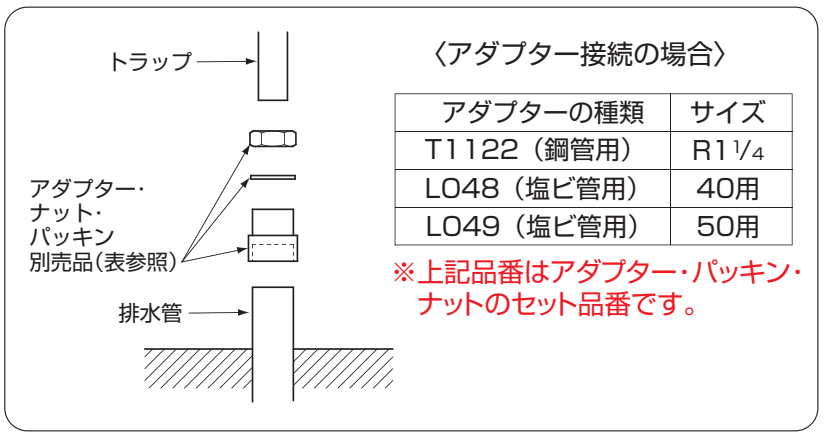
13 排水トラップの取り付け

- 床排水トラップの場合は、排水管に防臭栓をはめてトラップを差し込みます。
- 集合住宅、高層住宅の場合、排水管とトラップを別売のアダプタ（下表）で確実に接合します。

※樹脂製ナットは手で確実に締めてください。



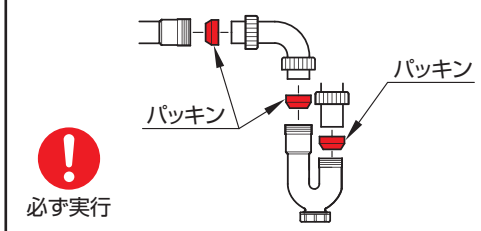
〈樹脂製排水トラップの場合〉



アダプターの種類	サイズ
T1122（鋼管用）	R1¼
L048（塩ビ管用）	40用
L049（塩ビ管用）	50用

⚠ 注意

・パッキンの方向に注意する

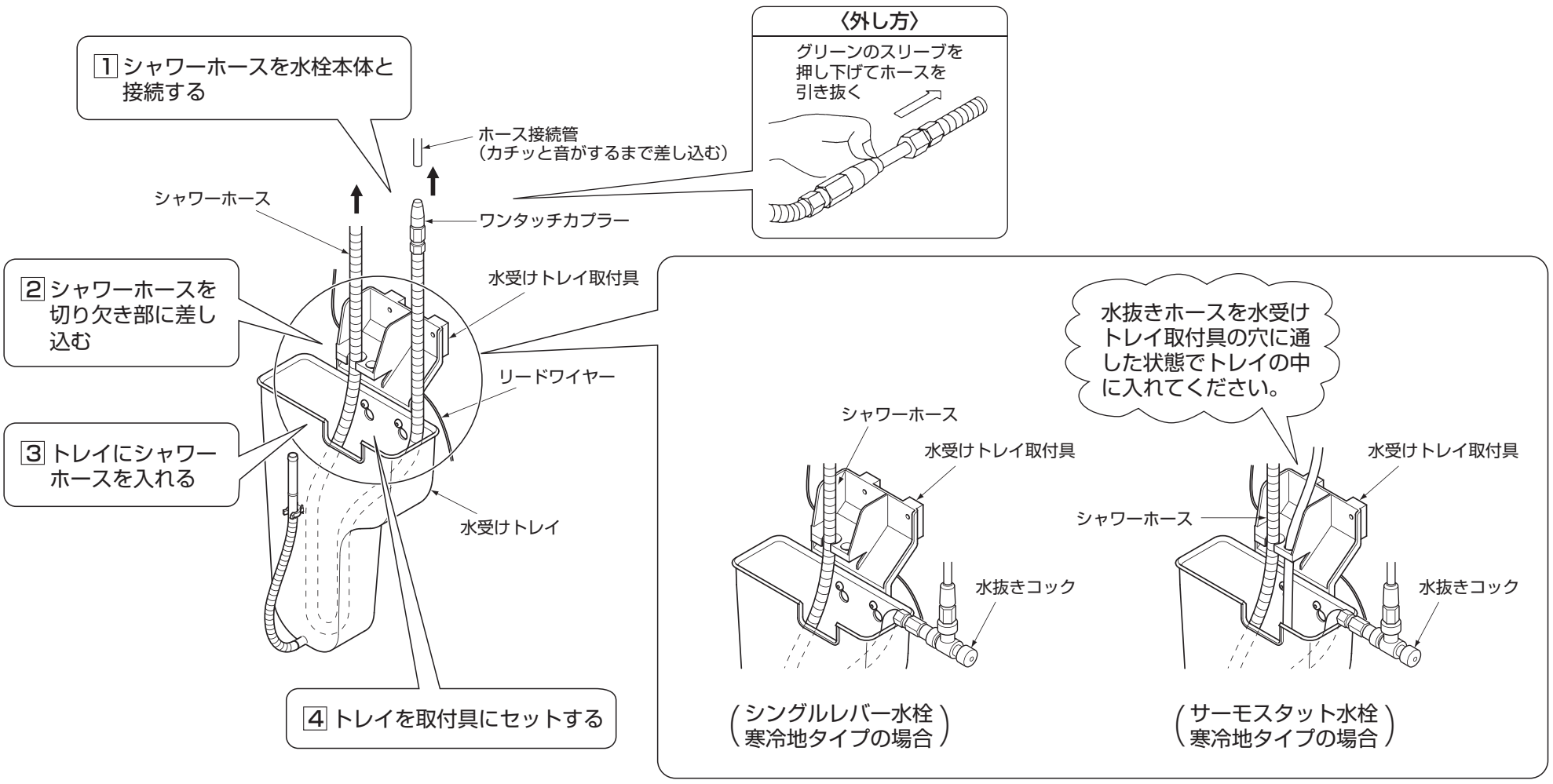


・ナットは手で確実に締め付け工具は使用しない

水漏れの原因になります。

14 水受けトレイの取り付け（シャンプータイプのみ）

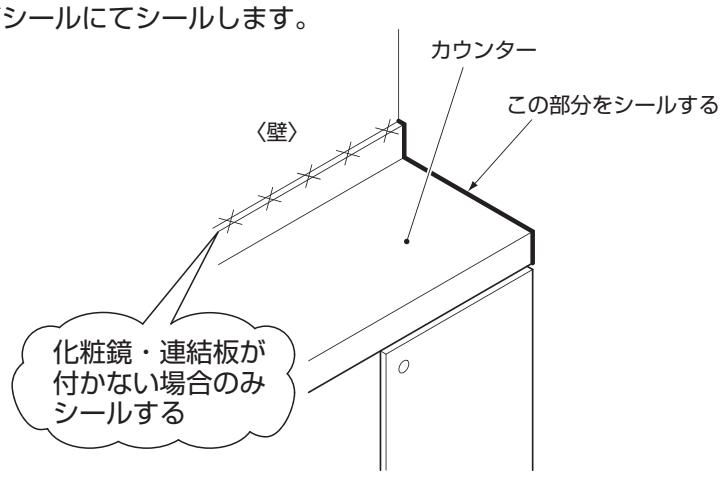
- 水受けトレイを取り付けてください。

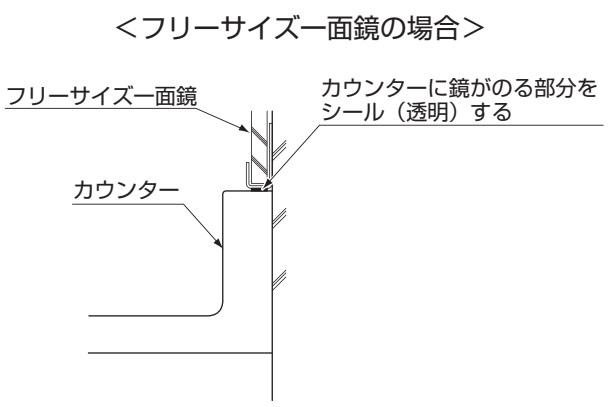


15 壁やミドルキャビネットおよびフリーサイズ一面鏡との処理方法

- カウンターと壁の突き合わせ部をメジシールにてシールします。

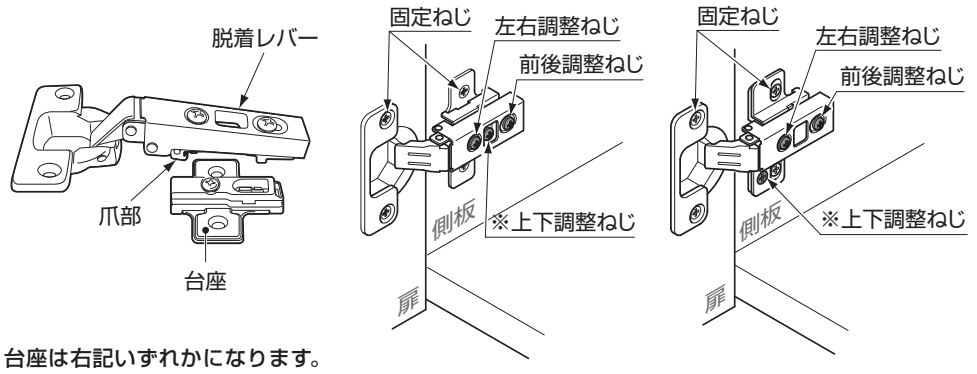
（白　－YG902S
透明－YG903S）





7 扉の着脱・調整方法

■各部の名称

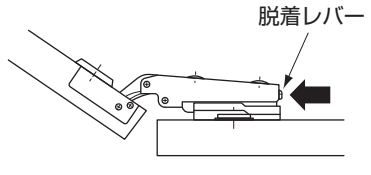


台座は右記いずれかになります。
※上下調整ねじの位置が違います。

■扉の着脱方法

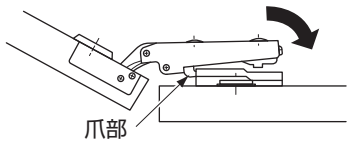
● 外しかた

本体後端の本体脱着レバーを矢印の方向に押し込みながら、本体後端部を持ち上げてください。



● 取り付けかた

丁番先端の爪部に台座の先端を合わせはめ込み、カチッと、はまるまで本体後端部を押し下げます。

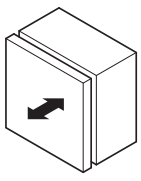


※本体がきちんと台座に装着されているか確認してください。

■扉の調整方法

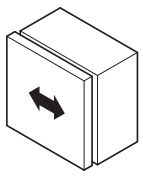
前後調節

前後調節ねじをゆるめ、扉を前後に動かし、適当な位置を選び、しっかりねじを締めます。



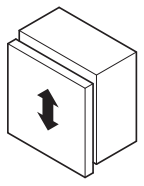
左右調節

左右調節ねじを左右に回して、適当な位置を選んでください。



上下調節

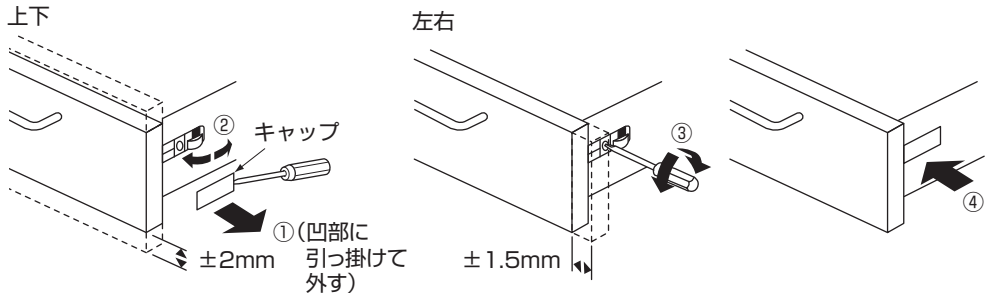
上下調節ねじをゆるめ、扉を上下に動かし、適当な位置を選び、しっかりねじを締めます。



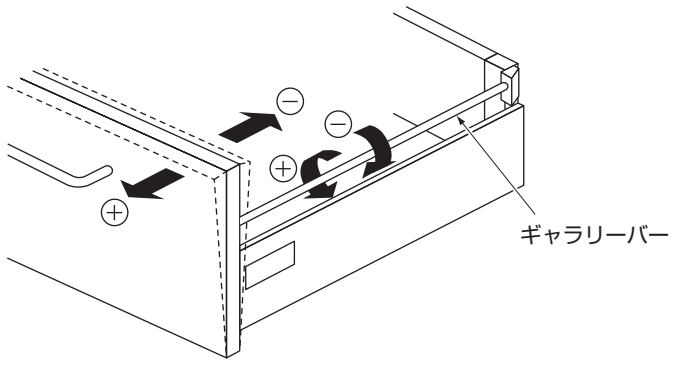
8 引き出し前板の調整方法（ストックカーゴタイプ）

その他の引き出しの調整方法は、商品に貼り付けてあるラベルを参照してください。

● 引き出しの上下左右調整
①引き出し側面のキャップを外して、調整してください。
②上下は両端のダイヤルで±2㎜調整できます。
③左右は引き出し右側のねじで±1.5㎜調整できます。
④前板の調整が終わったら必ずキャップを戻してください。



● 引き出しの角度調整
前板の角度調整はギャラリーバーを回転させて調整してください。



9 取り付け完了後の確認と清掃

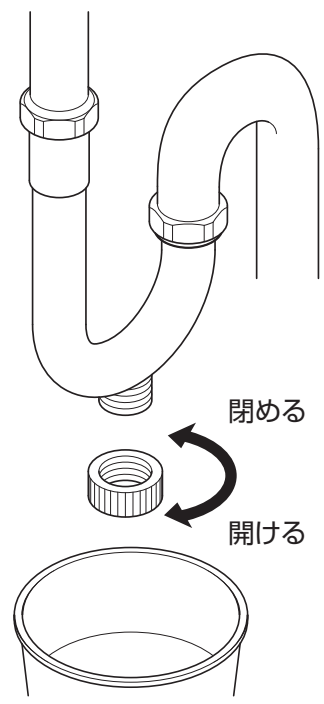
- キャビネットが壁に確実に固定されていることを確認してください。
- 扉・引き出しの傾き・がたつきなど丁番のゆるみがないことを確認してください。
  調整要領は扉裏面に貼り付けのラベルを参照ください。
- 通水し、配管内部の詰まり、配管接続部の水漏れ、ボウル内に汚れのないことを確認してください。
- 商品に付いた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたく絞ってふき取ってください。
  その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきしてください。
  シンナー・ベンジン・除光液などの使用は表面を変色・変質させますので、絶対に使用しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどで遮ってください。
- 扉や前板に傷つき防止用保護シートが貼られている場合は、シートをはがしてください。

10 寒冷地タイプの水抜き

寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。

⚠ 注意

必ず実行

- **凍結のおそれのある時期に取り付けされた場合は、別途設備された水抜き栓の操作と併せて、次の要領で水抜きをする**
  お客様にも水抜き方法をご指導ください。
- **水抜きコックは手で確実に締め付け、工具は使用しない**
  水漏れの原因になります。

樹脂製排水トラップの場合